

東日本大震災



連
合
目
録

2011.3.11 東日本大震災

2011.9 紀伊半島大水害(台風12号)

救援活動の記録



紀伊半島大水害

社会貢献活動の取り組み

連合三重は、東日本大震災（2011年3月11日）や紀伊半島大水害（2011年9月）の発生に伴い、「連合三重災害発生時の対応マニュアル」に基づいて災害対策本部を立ち上げ、積極的な復旧・復興支援活動に取り組んできました。

東日本大震災については、2011年3月12日に『連合三重災害対策本部』を設置して3月13日に地協議長へ連絡をとり、情報収集を行ないました。紀伊半島大水害については、2011年9月6日に連合三重紀南地協に「連合三重現地災害対策本部」を設置しました。

東日本大震災の救援活動は、連合本部からの要請だけでなく、みえ災害ボランティア支援センターを通じて「ボラパック」への参加を行い、NPOと連携をとりながら活動の幅を広げてきました。

また、紀伊半島大水害の対応については、9月20日に政府から「激甚災害」に指定され、地元の社会福祉協議会と連携して東日本大震災のボランティア活動を教訓に、迅速な救援活動にあたることができました。



概要と被害状況

●東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

発生日時／2011年3月11日(金) 14時46分 震央地名／三陸沖(震源の深さ24km)
規模／マグニチュード9.0 同日14時49分 津波警報(大津波)発表

全国の被害状況 (出典:総務省消防庁HP 2012年3月13日 現在)

【人的被害】		【住宅等被害】	
死者	16,278人	全壊	129,198棟
行方不明者	2,994人	半壊	254,238棟
負傷者	6,179人	一部損壊	715,192棟
避難者数		床上浸水	20,427棟
岩手県	1,566人	床下浸水	15,502棟
宮城県	8,548人	公共建物	35,465棟
福島県	62,674人	火災	284件
合計	72,788人		



岩手県下閉伊郡山田町の被害状況 (出典:山田町HP 2012年9月18日 現在)

【人的被害】		【住宅等被害】	
死者	781人	全壊	2,762棟
安否不明者	5人	大規模半壊	202棟
		半壊	203棟
		一部損壊	202棟
※避難所は2011年8月31日をもって閉鎖		※非住家は含まず	
※応急仮設住宅は町内43箇所に 仮設住宅19,409棟を建設		※被害家屋の合計3,369棟(46.7%)	



●紀伊半島大水害（台風12号）

県内の被害状況 (出典:三重県HP 2012年3月 現在)

【人的被害】		【住宅等被害】	
死者	2人	全壊	81棟
行方不明者	1人	半壊	1,077棟
重傷者	7人	一部損壊	71棟
軽傷者	10人	床上浸水	702棟
		床下浸水	832棟



主な活動経過

【東日本大震災】

午後2時46分 東日本大震災(マグニチュード9.0 最大震度7)	2011年 3.11
連合三重災害発生時の対応マニュアルに基づいて「連合三重災害対策本部」を設置	3.12
全地協議長と連絡をとり、情報収集と地域の被害状況の把握	3.13
連合本部「連合救援ニュース」「連合救援ボランティアレポート」を@連合三重や、連合三重ホームページにて情報提供	3.14~
会長メッセージ「東北関東大震災のお見舞いと緊急支援のお願い」を発信	3.17~
救援カンパ口座を開設し、連合三重ホームページを通じて構成組織の集約によらない単組・組合員、未加盟組織、一般県民からの救援カンパを呼びかけ	
機関紙No153を発行し、構成組織と地協にて「連合東北地方太平洋沖地震救援カンパ」の取り組みスタート	3.22~
連合三重第19回執行委員会で当面の取り組みを確認 津駅で街頭カンパ	3.23
四日市駅で街頭カンパ	3.28
伊勢市駅で街頭カンパ	3.29
桑名駅で街頭カンパ	3.30
連合救援ボランティア隊の第1陣129名が、岩手、宮城、福島へ出発	3.31
義援金第1次集約(1,400,000円)を連合本部へ送金	4.25
桑名駅、松阪駅でメーデー街頭カンパ	4.25
四日市駅、津駅でメーデー街頭カンパ	4.26
宇治山田駅でメーデー街頭カンパ	4.27
白子駅でメーデー街頭カンパ	4.28
第82回三重県中央メーデーで「連合三重ボランティア復興支援活動」などの取り組み報告を行う	5.01
中央メーデー会場ならびに各地区メーデー会場で募金活動	
連合三重第21回執行委員会の「みえボラパック」で岩手県山田町の復旧・復興活動へのボランティア派遣を決定	5.24
5月6日より10月15日までに延べ74人がボラパックへ参加	
連合・労協協チャリティコンペでカンパ活動	5.27
義援金第2次集約(3,668,542円)を連合本部へ送金	6.06
「東日本大震災 許すな 震災便乗解雇」連合労働トラブルホットライン」の開設	6.09~10
連合三重第22回執行委員会「東日本大震災復興支援に向けた義援物資」斡旋を展開	6.22~8.31
東日本大震災に伴う「ハローワーク前求職者アンケート」の実施	7.04~07
三重県知事と三重労働局長に対し、東日本大震災に伴う被災地及び県内の支援体制について要請	7.05
労協協・連合チャリティコンペのチャリティ金50万を三重県防災危機管理部へ寄贈	
義援金第3次集約(10,000円)を連合本部へ送金→合計5,078,542円を送金	8.19



東日本

岩手県山田町に三重県の現地事務所「トレーラーハウス」を設置
連合三重第2回執行委員会にて、みえ災害ボランティア支援センターの報告を受けボランティア派遣は一旦休止(12月1日~翌年3月31日まで募集を一時中断。冬季を迎えるにあたり、野外活動がスムーズに行なえないことや、ボランティア活動者の移動、交通手段等、リスクが重なることを考慮)

1周年を迎え東日本大震災支援フォーラムが開催され、パネラーとして参加
東日本大震災支援団体連絡会へ登録「東日本大震災みえ宣言」に賛同
第1回「みえ東日本大震災支援団体連絡会(つながろう三重)」が開催

連合三重登録参加者のべ77名(男性69名、女性8名)、リピーターあり。※全体で1便~36便の参加者のべ人数648名

【紀伊半島大水害(台風12号)】

紀伊半島

●熊野市
●御浜町
●紀宝町

台風12号は9月1日から5日にかけて激しい雨をもたらす熊野市、御浜町、紀宝町が被災	9.01
連合三重災害発生時の対応マニュアルに基づき、全地協議長への情報収集と地域の被害状況の把握	9.06
紀南地協より労働福祉会館、加盟組合の事業所、組合員の住宅で浸水などの被害報告を受け、連合本部へ報告	
国道42号線の通行止め解除を待って現地へ入り、被災状況を確認	
紀南地協へ「連合三重現地災害対策本部」を設置	9.07
熊野市社会福祉協議会と応援体制について調整	
ボランティア運営スタッフを現地サテライトへ派遣(連合三重、三重県労協)	9.08
熊野市災害ボランティアセンター(山崎サテライト、入鹿サテライト)が開設	
パケツや雑巾、高圧洗浄トラック、ジョレンなどの機材を提供	
熊野市社会福祉協議会から紀南地協に対する災害ボランティアへの協力要請を受け、構成組織・地協へボランティア参加を働きかけ	9.09
紀宝町社会福祉協議会から紀南地協に対する災害ボランティアへの協力要請を受け、構成組織・地協へボランティア参加の働きかけ	
緊急三役会議を開催し、現地の被災状況や人的・物的支援について協議	9.20
政府が「激甚災害」に指定	9.20~21
台風15号が三重県東部を横断 熊野市、紀宝町などで避難勧告・指示	
雨量規制により国道42号線が通行止め	9.27
連合本部へ「台風12号災害」に伴う支援要請を提出	9.29
連合本部中央執行委員会「連合・愛のカンパ」自然災害救援・支援拠出を決定	
100万円を受領	10.06
三重県知事に「台風12号災害に伴う被災地の早期復旧及び生活支援等にかかる要請書」を提出	10.13
熊野市ボランティアセンターを休止し、ニーズは熊野市社会福祉協議会で対応	10.16
紀宝町ボランティアセンターを休止し、紀宝町社会福祉協議会で一般ボランティア受入を中止、専門的なボランティアは継続	11.18

